

東京専従日誌

全日本教職員連盟
事務局次長 原井 和彦



「我ら古閑裕而とともに①」

皆さん、御無沙汰しております。全日教連の原井です。今回は、全日教連結成と今話題の古閑裕而さんの関わりについて、山本豊全日教連第三代会長からの香教連へ御寄稿頂きましたので御紹介します。

昭和五十九年二月二十六日、新教職員組合連合(新教組)と日本教職員連盟(日教連)が大同団結し「全日本教職員連盟」が誕生した。今年で三十六年になるが、誕生の陰には全国の多くの先輩たちが「日教組を超える教職員団体をつくらう」といった熱き想いをもった二団体の加盟団体(三十六団体)の代表が九三〇年をかけた八十八回の討議を行い結成が実現したのであった。

一年目は新組織結成準備検討委員会において新組織の綱領、基本姿勢、政党や労働組合との関係、他団体との連携等について慎重かつ熱心な討議を展開した。委員たちの中には、「分裂、対立等の失敗は許されない」といった姿勢がみまがっていた。

二年目は名称を新組織結成委員会に変更し日本教育文化研究所の創立、全日教連共済制度設立、中華民国教育部との教育交流、全日教連選挙規定、事務局運営規程、結成大会、祝賀会の内容、方法について討議を重ね信頼の絆を相互に温め合ったのであった。大同団結の結実を間近に迎え、会の名称、会旗、会の歌をどうするかを取り上げ積極的な意見が交流された。

名称は、いろいろ提案されたが会旗の案は青森県教育協議会の山田悟郎氏が提案し白地に紺のN・T・F・Jが決定、全日教連の歌は昭和四十五年結成していた日教連の歌を組織の名日教連を全日教連と名を変更することを了承、作曲者の古閑裕而氏が存命中だったので本人の許可を頂き継続することになった。歌詞小山英夫氏(香川県出身)の美しい歌詞は歌い継がれることになった。

「ふるさとの山の歌声 ふるさとの土のよさこび
この愛し子を見守りて われらは集う全日教連」

愛し子を見守り、愛し子の幸せを祈り愛し子とつくりつつ、全日教連は進むこの心はいまでも受け継がれている。

当時小生は、日教連の副委員長兼組織局担当でもあった。新組織結成にあたり新教組専従だった弘中勝彦(故人)・中村賢二(故人)と一心同体で全日教連結成に知恵を出し、汗を流したことを想い出した。

元全日本教職員連盟委員長

一般社団法人全国教育問題協議会常務理事

山本 豊



先生のための マネーフランコラム

ファイナンシャルプランナーからのお便り
「新型」コロナショックについて
〜特別編⑤〜

今回は、新型コロナウイルスによって起こった私たちの業界周辺の変化等についてお伝えします。

まず当社では、社内の打合せなどは、朝礼も含めて全てオンラインで行っています。実際に直接顔を合わせて話さない、雰囲気や思いが伝わらない、と当初は考えていました。しかし実際にやってみると、リアルな会議以上に一人一人の表情を見ることができ、それが理解度や認識をうかがい知ることができると気づきました。

そして発言を指名して促すことにより、それぞれが自分の頭の中で考え、そのテーマについて準備するようになってきたように思います。結果的に、移動の時間は当然ですが、打合せの時間自体も減らすことができているように思います。

また社内だけでなく、対外的なミーティングやセミナーもオンラインで行うことが増えてきました。今までは首都圏に行かないと参加できなかった勉強会・研究会にも、手軽に参加できるようになりました。今回のコロナ禍によるオンラインの進化は、距離の問題を大幅に解消する、とも言われています。

もちろん、まだまだ実際に会わないとできないこともたくさんあり、オンラインですべてが解決・改善されるわけはありません。ただ、今回のコロナショックを契機に、非対面での情報提供の方策を検討し実行することが、これから様々な方面で、大きな格差が生じてくる、と私は考えています。



F P ラボ代表 伊藤祐一

第一回会長・事務局長会 第一回執行委員会リモート会議で開催

六月二十日(土)十時分より、令和二年度執行部による第一回会長・事務局長会、第一回執行委員会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大リスクを考慮して、Zoomによるリモート会議を行った。



北村顕吾委員長の挨拶の後、新体制になって初めての会長・事務局長会、執行委員会ということもあり、画面を通しての顔合わせとなった。その後、北村委員長より経過報告を行った。

採用試験対策部研修会のお知らせ

第四回 採用試験対策部研修会

〇日時 八月六日(木)十七時三十分〜二十時 (受付十七時)

〇場所 香川県教育会館二階会議室 (模擬授業・個人面接等について)

参加申し込み・お問い合わせについては、香教連事務局までお願いします。

TEL 〇八七七八三五二七二二
FAX 〇八七七八三五二七二三



第十四回香川県親守詩 優秀作品発表会中止のお知らせ

令和二年九月二十六日(土)に開催予定であった「第十四回親守詩優秀作品発表会」についてですが、共催しております香川県モラロジー協会と協議したところ、新型コロナウイルス感染症リスクを考慮して、やむを得ず中止とさせていただきます。大変残念で申し訳ございませんが、御理解の程よろしく願います。